

国道115号 阿武隈東道路  
「榎這橋（仮称）ボルト締結式」のお知らせ  
～阿武隈東道路の最後の橋が繋がります～

相馬福島道路の阿武隈東道路は復興のリーディングプロジェクト（復興支援道路）として位置づけられ、平成28年度の開通に向けて工事を進めております。

この度、阿武隈東道路としては最後の橋梁工事となる「榎這橋（仮称）」の上部工が繋がることを記念して、地域の代表の方ならびに山上小学校の児童によりボルト締結を行いますのでお知らせ致します。

- 日時：平成27年10月26日（月） 13：30～14：30頃
- 場所：福島県相馬市山上字榎這 地内【別紙参照】  
榎這橋
- 式典内容：
  - ・事業概要説明
  - ・ボルト締結（地域代表の方、小学校児童代表、相馬市、発注者、施工者）
  - ・発注者挨拶（国土交通省 東北地方整備局 磐城国道事務所）
  - ・施工者挨拶（高田機工株式会社）

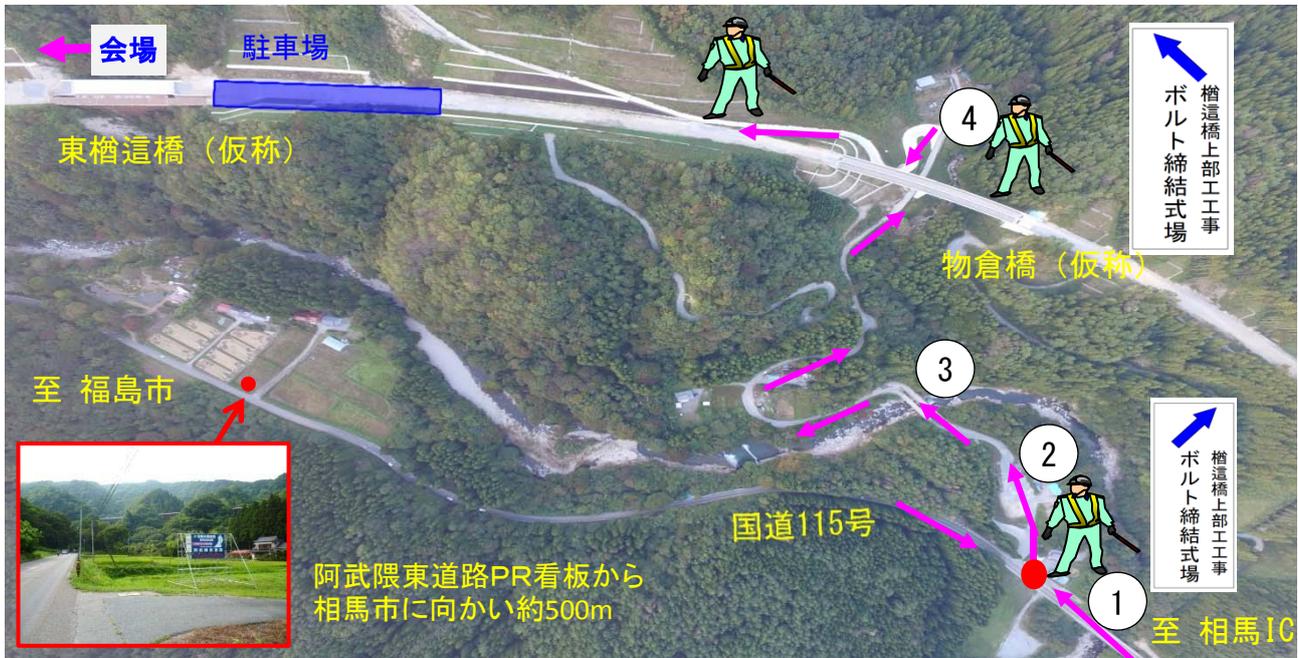
※当日はボルト締結式終了後、建設機械の見学会も開催します。

発表記者會等：いわき記者会、いわき記者クラブ、いわき市ふるさと発信課、  
南相馬市役所記者クラブ

問い合わせ先	
【式典や施工内容に関すること】 高田機工株式会社 榎這橋作業所 電話 022-261-2741 現場代理人 <small>なかで</small> 中出 <small>まさふみ</small> 真史	【事業に関すること】 国土交通省 東北地方整備局 磐城国道事務所 0246-23-2211（代表） 副所長 <small>ちば</small> 千葉 <small>とみひこ</small> 富彦（内線204） 工務課長 <small>いわぶち</small> 岩渕 <small>まこと</small> 誠（内線411）

# 檜這橋(仮称)ボルト締結式

## 【案内図】

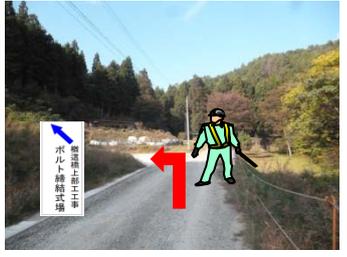


① 国道115号を福島方面へ向かい「しのぶ」ドライブインから車で約3分 看板を目印に 右折

② 工事用道路へ入り 道なりに進む

③ 工事用道路仮橋から更に道なりに登る

④ 物倉橋の橋脚近くの案内看板を目印に 左折

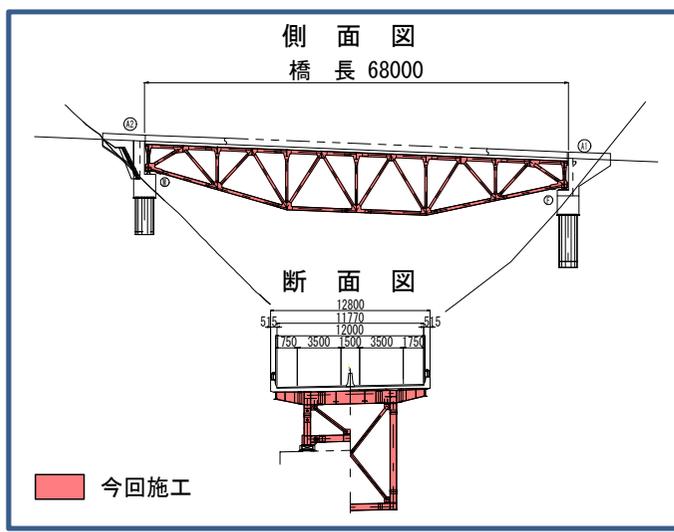


これまで檜這橋に使われたボルトは約19,000本。  
参加者の皆様に最後の10本を締めていただきます。

檜這地区三連橋(東檜這橋、檜這橋、西檜這橋)完成予想図



位置図



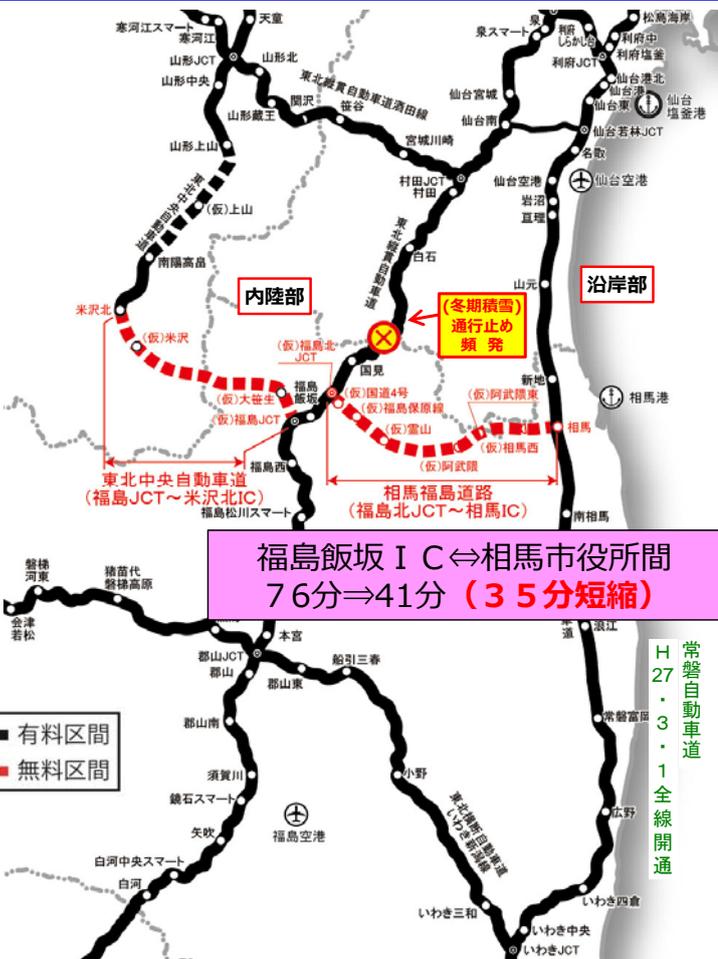
一般図

檜這橋(仮称)設計条件

路線名	一般国道115号 阿武隈東道路	
道路規格	第1種 第3級	
設計速度	80km/h	
形式	上部工	鋼上路式単純非合成トラス橋
	下部工	逆T式橋台
	基礎工	深礎杭φ3000
橋長	68.000m	



# メリット① 通勤時間が大幅に短縮 福島⇔相馬間が身近に！



はしご状の高速道路ネットワークを形成し、効率的な交通経路の選択が可能に

現道115号を利用した原材料輸送における課題



相双地方の企業は、内陸・関東方面へ輸送する時、冬期道路状況等により仙台経由で輸送している ⇒ 大幅な迂回損失が発生

冬期迂回ルート  
迂回率 1.74  
大型車1台当たり約1,700円の迂回損失

資料：H22道路交通センサスピーク時旅行速度時間価値原単位はH20年価格

# メリット② 悪天候や災害時においても寸断されない信頼性を確保

▼相馬市～福島市間の緊急輸送道路は国道115号のみ



▼落石等により寸断された国道 国道115号相馬市山上地区 (H18年6月)



▼豪雪により寸断された国道 (伊達市霊山町石田地内(H26年2月)全止め3日間)

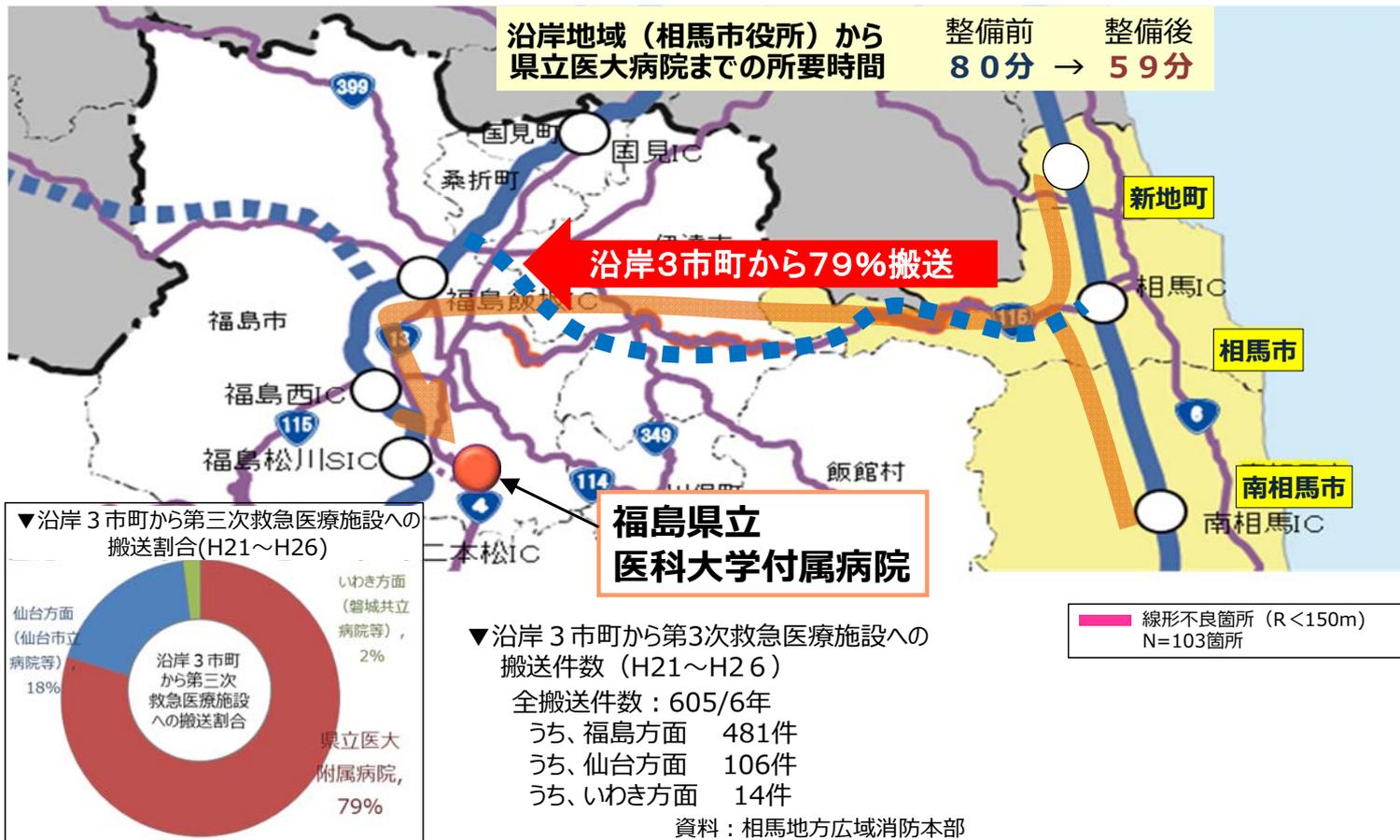


国道115号は、災害等による通行止めが頻発 (通行止15回/16年)

※H11～H26

## メリット③ 救急医療の支援

急カーブや急勾配の回避により患者への負担が軽減され、安心・安全な救急医療を支援



## メリット④ 地域経済を支援

相馬港を活用した輸送効率化を図り、企業活動の活性化を支援

### 《輸送コスト削減の事例》

鑄造用並びに製鋼用鉄源を扱う二本松市のI社は、銑鉄の輸送にあたって相馬港を活用し、輸送費の安い海上輸送をメインの輸送方法に切り替えることで、大幅なコストダウンを実現

2,000円/t  
のコスト削減



輸送方法の切り替えイメージ



相馬港